

発行：2022年8月10日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦
連絡先事務局 〒753-0221 山口市大内矢田北3丁目9-1 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
ホームページアドレス：http://www.shanti-yamaguchi.itigo.jp/

国際協力活動報告展終了しました。

山口県立大学国際文化学科地域実習

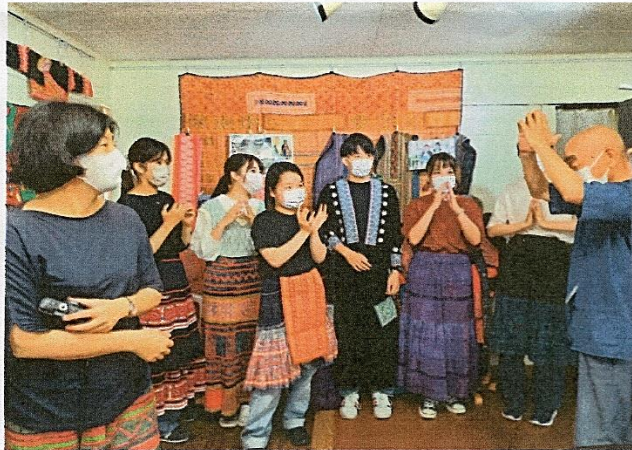
「共に生き、ともに学ぶ」シャンティ山口の活動から学ぶ国際協力

写創蔵ニュースレター160

2022. 7. 26

秋吉台フォトギャラリー写創蔵 管理主任 佐古八重子

実日数 21日
来蔵者数 782名
毎日新聞に記事、カラー掲載。〔7月3日(日)〕
山口新聞に記事、カラー掲載。〔7月20日(水)〕



毎日新聞さん・山口新聞さん、
取材…シャンティ山口の活動
から国際協力の在り方を学ぶ
県大生や活動内容など紹介…
大きく紙面を飾って頂き
ました。



将来の夢を語る県大生

頑張れ若者!!

民族衣装を着て…佐伯事務局長の講義を熱心に…。



来蔵者さんと交流、学習の成果を発揮!!



用途多彩の魔法の布

NPO法人シャンティ山口事務局長佐伯昭夫さん、
進藤先生、学生のみなさま、暑い中
展示・飾り付けから撤出まで
お疲れさまでした。みなさまの益々のご活躍を
応援しております。



県大生が作成したモザイクアート“共に生き 共に学ぶ”とスライドショー

モン族の民族衣装、刺繍製品（柴静子広島大学大学院名誉教授提供）



毎日新聞

MAINICHI



7月3日(日)

2022年(令和4年)

Sunday

[第3種郵便物認可]

タイ・少数民族の生活支援 NPOの活動報告展

美 祢



タイの少数民族が文字の代わりに使う
絵について説明する川崎さん

県立大生 国際協力の意義学ぶ

タイ北部の少数民族の支援に取り組むNPO法人「シャンティ山口(周南市)」の活動を紹介する「国際協力活動報告展」が美祢市美東町赤の秋吉台フォトギャラリーで開かれている。県立大の学生らが国際協力の在り方を学ぶ授業の一環にもなっており、学生は午後4時。

ちが支援地域を訪れた際の様子に加え、コロナ禍のため海外渡航が難しくなった学生たちが少数民族の子供たちとのオンライン交流などを通じて考えた国際支援の目的や意義についても発信している。24日まで。午前10時〜午後4時。【福原英信】

シャンティ山口は、ベトナム戦争やラオス内戦の影響でタイ北部の山岳地帯に移住を余儀なくされた少数民族の生活支援に取り組む学生たちが支援地域をめぐり、学生寮の運営、伝統文化の刺しゅうの継承などを続けている。近年では、遺伝子組換えトウモロコシへの転作で山林が荒廃し、水源の枯渇、洪水被害などが起きていたことから、少数民族の自立を目標として、安定した収入を得やすいマンゴ

の栽培を奨励し、森林再生にも力を貸す。県立大では授業の一環で、これまでもシャンティ山口の協力で、学生たちが支援地域を訪れるスタディーツアーなどを実施してきた。コロナ禍で現地に赴くのが難しい状況になっても学生たちは、学校に通うため寮生活している少数民族の子供たちとオンライン交流をすることなどで、文化理解や国際協力の意義を学ぶ。報告展では、コロナ禍前のツアーの報告などを踏ま

え、民族衣装や環境負荷の少ない農法、活動を通して学んだSDGs(持続可能な開発目標)を説明するパネルなどを展示している。現在は2、3年生の6人が受講しており、今後、オンライン交流などに臨む。2年の川崎風華さん(20)は英語教師を目指しており「少数民族の一部が文字を持たず絵で伝えると知って驚いた」と話す。2年の西中愛美さん(19)は将来アフリカで国際協力を携わる目標があり「タイとの交流で学んだことをアフリカで生かしたい」と期待に胸を膨らませる。シャンティ山口事務局長の佐伯昭夫さん(77)は「自立して生活できる環境づくりを大切にしてほしい」と話した。

山口新聞

発行所
みなと山口合同新聞社◎
〒750-8506 下関市東大和町1丁目1-7
http://www.minato-yamaguchi.co.jp

編集局 TEL083(266)3211
FAX083(266)5344
yedit@minato-yamaguchi.co.jp
営業局 広告 TEL083(266)3212
販売・事業 TEL083(266)3213

2022年(令和4年)

7月20日
水曜日

TODAY



タイの少数民族 支援活動を紹介

タイ北部の山岳少数民族
の支援に取り組む「シャン
シャンティ山口、美祿で
ティ山口の活動報告展が、
美祿市美東町赤のフォトキ
ャラリー、写創蔵で開かれ
ている。24日まで。

の自立促進を目的に、現地
で取り組んできた支援の内
容を写真やパネルで説明し
ている。

3年の設立以降、少数民族
の知識向上のためのセミナ
ー開催や保育所での読み聞
かせ指導、伝統文化の継承
支援などさまざまな活動を
知ることができる。色鮮やか
なモン族の手作り刺しゅう
製品も展示。報告展開催
に当たっては、シャンティ
山口から国際協力について
学んでいる県立大の学生も
協力した。

健康管理、環境衛生など

水、木曜は休み。問い合
わせは写創蔵(電話090
・7595・9081)へ。
(平岩和也)

モン族の手作り刺しゅう
製品も見ることができる
シャンティ山口の活動報
告展は18日、美祿市美東
町赤

タイ入国 2年6ヶ月ぶり行ってきました。(6月28日~7月19日の間)

[緑の募金]中央事業 Green Fund Project

タイ国、入国制限が緩和されたため延期中でした「ナムカー村」・「パンカー村」の事業を再開することができました。(全員入国直後の10日間隔離が解除されましたが、飛行機搭乗前の72時間以内のPCR陰性証明書など必要で依然厳しい状況でした。)

村の住民は2年前から山の畑を整備し、「遺伝し組み換えトウモロコシ」も植えずに待ちに待った果樹の到着に、喜びと、「7年~10年先の収穫を夢見て」土気も上がり、早速植え付け作業に追われています。配付果樹の苗木は、「マンゴー・ラムヤイ・ドリアン・アボカドなど12,000本に及び、植栽、活着調査、生育調査など村人たちがみんな協働します。(10月~11月、調査訪問予定)



[苗木配布作業]

~「地球環境保全活動」支援募金に、ご協力をお願いします。~